



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社イーグランド
 コード番号 3294 URL <http://www.e-grand.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 白惣 考史

TEL 03-3518-9779

四半期報告書提出予定日 平成30年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	14,348	10.6	1,007	22.0	839	27.3	575	28.4
29年3月期第3四半期	12,975	11.4	825	14.0	659	18.5	447	42.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	91.85	90.43
29年3月期第3四半期	70.54	69.32

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	18,489	6,258	33.6
29年3月期	16,768	5,774	34.2

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 6,212百万円 29年3月期 5,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		10.00	20.00
30年3月期		14.00			
30年3月期(予想)				19.00	33.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成30年1月31日)公表いたしました「期末配当予想の修正(東証一部指定記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,048	8.4	1,321	7.2	1,050	3.8	720	1.8	114.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	6,362,000 株	29年3月期	6,362,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	66,800 株	29年3月期	145,000 株
----------	----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	6,260,792 株	29年3月期3Q	6,350,742 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の増大や雇用情勢の改善により、個人消費の伸び悩みはあるものの、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方、海外では北朝鮮情勢の緊張状態が続いており、今後の先行きは不透明となっております。

当社が属する不動産業界、とりわけ中古住宅流通市場におきましては、公益財団法人東日本不動産流通機構（東日本レインズ）によると、平成29年4月～12月度における首都圏中古マンションの成約件数は前年同期比0.4%の微減となった一方で、成約価格は平成25年1月以来60ヶ月連続で前年同月を上回って推移しており、価格の上昇が続いております。

当社の主たる事業である中古住宅再生事業におきましては、競合の激しい仕入環境の中、利益率の向上を目指して物件を厳選する仕入方針を継続しております。当第3四半期累計期間の仕入件数は、首都圏エリアにおける競売及び任売の仕入活動が順調に進んだことに加え、関西支店の仕入の出遅れが改善された結果、前年同四半期累計期間の700件から789件（前年同期比12.7%増）となりました。

販売につきましては、主に首都圏エリアの販売活動が好調に推移した結果、当第3四半期累計期間における販売件数は、前年同四半期累計期間の606件から674件（前年同四半期比11.2%増）に増加いたしました。また、利益面におきましては、利益率重視の仕入方針を進めたことにより、販売物件の利益率が全体的に改善された結果、売上総利益率は前事業年度の15.9%から16.7%となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は14,348百万円（前年同四半期比10.6%増）、営業利益は1,007百万円（同22.0%増）、経常利益は839百万円（同27.3%増）、四半期純利益は575百万円（同28.4%増）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

<中古住宅再生事業>

中古住宅再生事業におきましては、居住用物件による売上が13,098百万円、収益用一棟マンションを含む収益用物件による売上が959百万円となり、物件販売による売上高は14,057百万円となりました。また、収益用物件の保有期間中の賃貸収入が74百万円となりました。その結果、当第3四半期累計期間における中古住宅再生事業の売上高は14,160百万円（前年同四半期比10.7%増）となりました。

<その他不動産事業>

その他不動産事業におきましては、賃貸用不動産の賃貸収入等によって、当第3四半期累計期間におけるその他不動産事業の売上高は187百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における流動資産は、15,552百万円となり、前事業年度末の13,779百万円から1,772百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が195百万円、販売用不動産が1,075百万円、仕掛販売用不動産が520百万円増加したことによります。

当第3四半期会計期間末における固定資産は、2,937百万円となり、前事業年度末の2,988百万円から51百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産が72百万円減少したことによります。

当第3四半期会計期間末における流動負債は、8,336百万円となり、前事業年度末の6,953百万円から1,383百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が1,200百万円増加したことによります。

当第3四半期会計期間末における固定負債は、3,894百万円となり、前事業年度末の4,040百万円から146百万円の減少となりました。これは主に、社債が48百万円、長期借入金が68百万円減少したことによります。

当第3四半期会計期間末における純資産は、6,258百万円となり、前事業年度末の5,774百万円から484百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が424百万円増加したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度（平成30年3月期）の通期業績予想につきましては、平成29年5月10日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,667,148	3,862,298
販売用不動産	7,546,931	8,622,421
仕掛販売用不動産	2,168,258	2,689,123
貯蔵品	801	827
その他	396,546	377,781
貸倒引当金	△52	△4
流動資産合計	13,779,633	15,552,449
固定資産		
有形固定資産	2,839,095	2,766,496
無形固定資産	12,928	7,772
投資その他の資産		
その他	136,725	163,283
貸倒引当金	△284	△265
投資その他の資産合計	136,440	163,018
固定資産合計	2,988,464	2,937,287
資産合計	16,768,098	18,489,737
負債の部		
流動負債		
買掛金	281,635	348,717
短期借入金	5,732,296	6,933,238
1年内償還予定の社債	67,800	71,200
1年内返済予定の長期借入金	489,158	570,729
賞与引当金	-	71,459
未払法人税等	92,477	134,937
完成工事補償引当金	7,372	7,941
その他	282,433	198,122
流動負債合計	6,953,172	8,336,346
固定負債		
社債	1,380,200	1,332,000
長期借入金	2,466,581	2,397,793
役員退職慰労引当金	66,893	66,893
その他	127,015	97,872
固定負債合計	4,040,689	3,894,558
負債合計	10,993,861	12,230,904

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	832,495	832,495
資本剰余金	807,495	813,417
利益剰余金	4,188,326	4,613,099
自己株式	△99,942	△46,042
株主資本合計	5,728,373	6,212,970
新株予約権	45,862	45,862
純資産合計	5,774,236	6,258,832
負債純資産合計	16,768,098	18,489,737

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	12,975,602	14,348,042
売上原価	10,893,347	11,948,664
売上総利益	2,082,255	2,399,377
販売費及び一般管理費	1,256,413	1,391,941
営業利益	825,842	1,007,436
営業外収益		
受取利息	112	72
受取配当金	1,391	1,651
契約収入	8,900	4,398
その他	1,049	1,024
営業外収益合計	11,452	7,146
営業外費用		
支払利息	126,517	124,795
支払手数料	35,508	45,245
その他	15,976	5,009
営業外費用合計	178,002	175,050
経常利益	659,292	839,532
特別利益		
固定資産売却益	4,403	2,302
特別利益合計	4,403	2,302
税引前四半期純利益	663,695	841,834
法人税、住民税及び事業税	196,305	273,841
法人税等調整額	19,433	△7,083
法人税等合計	215,739	266,758
四半期純利益	447,956	575,076

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
当社は不動産事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

- II 当第3四半期累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
当社は不動産事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。